

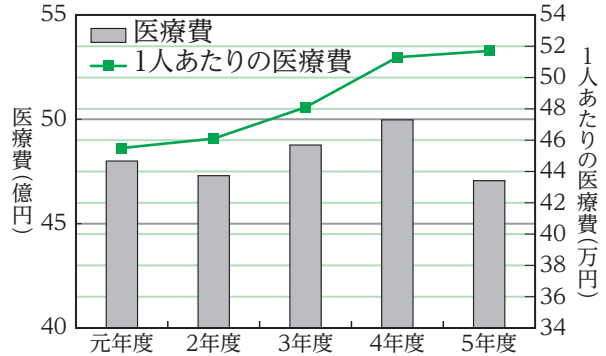
みんなで支える国民健康保険

さぬき市国民健康保険の1人あたりの医療費の額は517,093円で、前年度と比較して0.8%上昇しています。医療費が増えると皆さんの保険税の負担が大きくなるだけでなく、医療保険制度の運営が困難になってしまいます。一人ひとりが医療費に関心を持ち、医療費を有効に使うよう心がけましょう。

さぬき市国民健康保険医療費の推移

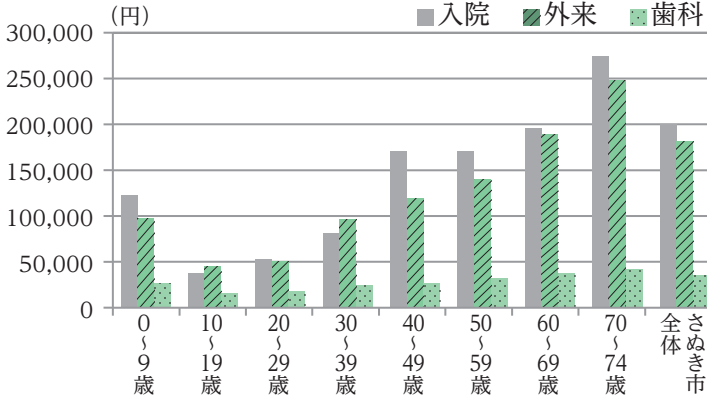
(単位:円)

年度	医療費	被保険者数 (年度平均)	1人あたりの医療費	
			金額	上昇率
元年度	4,801,008,687	10,543	455,374	—
2年度	4,725,284,976	10,245	461,228	1.3%
3年度	4,871,127,404	10,117	481,479	4.4%
4年度	4,992,041,055	9,730	513,057	6.6%
5年度	4,706,061,661	9,101	517,093	0.8%



1人あたりの医療費(医科・歯科)

令和5年度



<上図の説明>

1年間にかかる被保険者1人あたりの医療費はさぬき市全体で、入院が199,658円、外来が181,225円、歯科が34,930円となっています。年齢階層別では、いずれも70～74歳が一番高くなっています。

医療費別上位3疾病(令和5年度)

1位	新生物(がんなど)
2位	精神および行動の障害
3位	筋骨格系および結合組織の疾患

医療機関の適正受診にご協力ください

- かかりつけの医師をもち、気になることがあれば相談しましょう。
- 同じ病気で複数の医療機関を受診することは控えましょう。医療費の増加や重複する検査や薬による、体への悪影響に繋がります。
- 医師や薬剤師に相談したうえで、ジェネリック医薬品を有効に活用しましょう。

【問】国保・健康課 ☎(0879)26-9907

11月10日～16日は アルコール関連問題啓発週間です

お酒は生活に豊かさと潤いを与える一方で、不適切な飲酒は、健康障害や飲酒運転、暴力、虐待、自殺などの問題にも密接に関連しています。自分に合った飲酒量を知り、適切な飲酒を心がけましょう。

◇みんなに知ってほしい飲酒のこと【出典:厚生労働省(リーフレット)】

がん、高血圧、脳出血、脂質異常症などの疾患と飲酒量には、深い関係があることがわかっています。健康日本21(第3次)では、1日の平均純アルコール摂取量(男性40g以上、女性20g以上)を超える日が続くと生活習慣病のリスクが高くなるとされています。



↑詳細はこちら

◇飲酒チェックツール ^{スナッピー}SNAPPY ^{パンダ}PANDA

自分が飲んだお酒の種類を選ぶと、総飲酒量(純アルコール量)とお酒の分解にかかる時間が簡単に分かります。健康管理や飲酒運転防止のために、活用してみましょう。



↑チェックツールはこちら

【出典:厚生労働科学研究(2013～2015年)「WHO世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究」】

【問】国保・健康課(健康係) ☎(0879)26-9908